

安全と環境を考えるニシオの広報誌

安全くん

2003

Vol-6

66



それ行け!! 安全くん 「秋深し、仕事と芸の二刀流」の巻

●解説コーナー

「<手すり先行工法>について」

「11月は、建設関連のイベントが多い月です!」

「宮本武蔵の五輪書」

●世の中 見たトコ勝負 VOL.6

「五感で感じる新商品」

●NISHIO TOPICS

テレビ番組で活躍するNISHIOの機器



インターネットホームページ
「安全くんネット」もご覧ください。

<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

それいけ!! 安全くん

画 中村よしのぶ

連載 その66



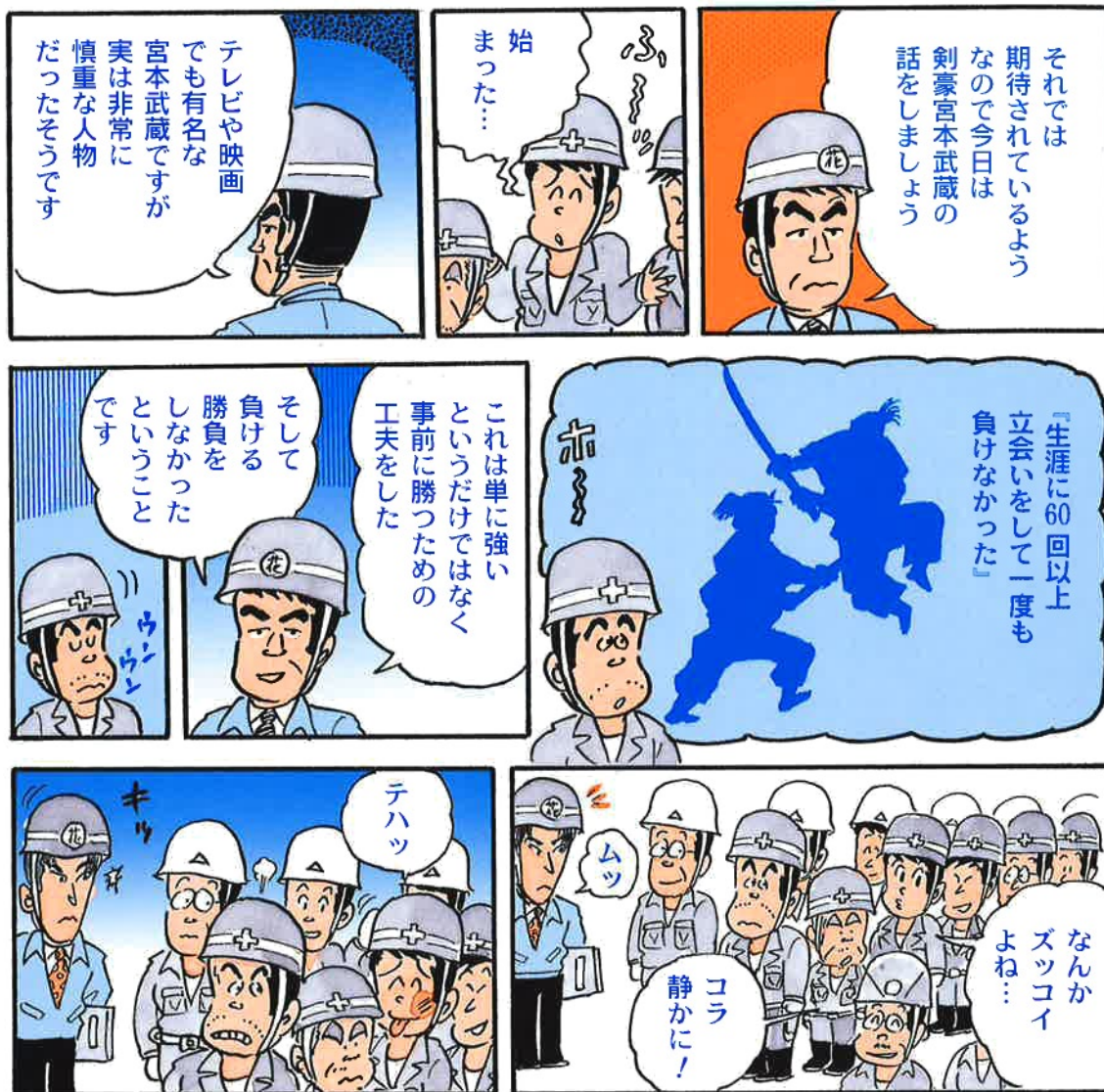
Info motion

「バガボンド」って、ご存知でした?

「秋深し、仕事と芸の二刀流」の巻



皆さんはご覧になりましたか? NHK大河ドラマ「武蔵」何回も流された嚴流島の決闘の前宣伝にすっかり影響され、今回の「安全くん」のストーリーにまで登場させてしまいました。テレビの力は怖いものです。ところで、「バガボンド」って、はじめて知りました。そんなに有名なったの?...



解説 コーナー

<手すり先行工法>について

建設業における死亡災害の4割を占める墜落・転落災害を減少させるため、国土交通省から「平成15年度における建設工事事故防止のための重点対策の実施について」の通達が示されました。この中で発注者が実施する対策として、足場からの墜落事故防止重点対策として、直轄工事においては、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 平成15年4月 基発第0401012号）」の適用を推進しています。

□「手すり先行工法」とは。

足場の組立・解体作業を、常に二段手すりが先行設置されている状態で行うことができる工法で、「手すり先送り方式」「手すり据置き方式」「手すり先行専用足場方式」の3つの方式があります。足場の使用時には二段手すりと幅木（つま先板）が、あらかじめ備えられており、当該設置状況に応じて養生ネット・シートなどの改善措置機材が具備された安全な状態で作業ができる足場です。

□手すり先行工法に関するガイドライン（抜粋）

●適用対象（第2）

足場の設置を必要とする建設工事（軒高さ10m未満の木造家屋等低層住宅建築工事を除く）に適用する。

●足場に係わる施工計画の作成（第5）

①事前調査、②足場計画、③足場用機材管理計画、④作業計画、⑤機械設置計画、⑥仮設備設置計画、⑦安全衛生計画、⑧工程表で構成する足場に係る施工計画の策定を義務付け、それにもとづき、手すり先行工法による一連の作業を実施することを求めています。

●留意すべき事項（第6）

①足場部材の組み立てに当たっては、脚部や交差筋かい関係等に、②組立作業では作業時期の周知など、③使用に当たっては手すり確認の徹底、最大積載荷重の厳守、悪天候時の作業禁止、不安全作業の排除などが明記されています。



解説 コーナー

11月は、建設関連のイベントが多い月です!

※カレンダーを見ますと、〇〇記念日や〇〇月間、という表示がよくありますが、11月にも建設業界に関係するもの がいくつか見受けられました。皆さんは、ご存知でしたか?

- ◆職業能力開発促進月間(11月1日~30日) 厚生労働省が実施。技能の日(11月10日)を含む1ヶ月間。建設関係にも技能士の資格は数多くあります。この期間に、技能五輪が開かれ、タイル張り、配管、電気、工場電気施設、左官、建築大工、造園などの分野で、技術を競う大会が開催されます。
- ◆建設雇用改善推進月間(11月1日~30日) 厚生労働省・国土交通省等が実施。建設業は、社会資本の整備という役割のほか、経済・雇用を支えるという面もありますが、雇用の実態は、まだまだ解決すべき課題は多いようです。厚生労働省、国土交通省及び雇用・能力開発機構の連携の下に建設事業主をはじめ関係者の関心と理解を深め、雇用改善の一層の推進を図ることを目的として、様々な啓発活動が展開されます。
- ◆秋の全国火災予防運動(11月9日~11月15日) 消防庁が主唱。秋から冬にかけての火災が発生しやすい季節を迎えるに当たり、広く防災意識を高めることを目的とします。建設現場においても、防火対策は重要です。乾燥・風に注意し、火の元のチェックや夜間の侵入者を防ぐ対策などをお願いします。
- ◆暮らしと土木の週間(11月18日~11月24日) 土木の日(11月18日)からの一週間。全国各地で様々な催し物が開催されます。子供・家族を対象とした現場見学会や技術展、シンポジウム、土木工事の歴史などを紹介するイベントなど。暮らしに密着している土木のことを広く知ってもらう活動が繰り広げられます。

ガンさんのワンポイントレッスン

『職長は、経験を語るべし!』

いよいよ寒さがこたえる季節に入りました。ベテランの部類に入る職長さんたちは、体調の維持のため長年の経験からいろいろな用意をされていると思います。

服装についても、軽くて保温性がよく、さらに通気性のよい下着とか、サポーター、手袋、首筋を守るちょっとしたマフラーのようなもの、などなど。

健康、体調の維持と作業内容、使用する器具などにより、一番最適なものを用意する。このあたり、職種によって、また作業現場・環境によって異なると思いますが、職長さんの工夫をメンバーに伝えてあげてください。若者は、ファッション重視の傾向があり、実用性を二の次にしてしまうことが多いようです。何故、この工夫が生きてくるのか、実体験からお話されることで、みんなのことを気遣っている職長の心情も理解されることでしょう。

また、体のメンテナンスについてもお願いします。首筋や腕、腰から足先まで、始業前にどの筋を伸ばしておけばよいか、休憩時にどのツボを押せば疲れが取れるのか、など。これらも作業、器具により様々なポイントがあると思います。故に、経験が深い職長さんたちのノウハウが役に立つ部分です。

「身体が資本」である職人の世界。そして、マニュアル化しにくい部分（気持ちの持ち方や日常の体調管理、養生等）については、職長の経験談がこれに代わるもの。武蔵の五輪書とまではいかずとも、今一度、知らず知らずにやってきたことを自分なりに検討し、後輩たちに伝授してあげてください。



SAFETY CHECK

セーフティチェック

高所作業台の危険 ～手動式高所作業台編～

作業床が昇降する高所作業台は、便利な反面、使用方法を誤ると墜落・転倒事故を招きます。

移動・乗降の墜落・転倒事故

手動ウィンチによる昇降の高所作業台は、作業床まで据付の梯子で登るので手元足を滑らせ墜落したり、作業床を上昇状態で手押し移動して地面の凹凸で転倒するような事故が発生しています。

(※)アウトリガは完全に張り出し作業床を水平にして転倒しないよう注意しましょう。

また、手ずりが格納式になっているタイプは、必ず作業台のロックピンが機能しているか確認を!

始業前点検のポイント

①取扱説明ステッカーが本体に貼付してあります。必ず確認を! ②ワイヤーロープはキンクや乱巻きになっていないか。ロープ末端部の確認も行う。 ③アウトリガはしっかりと張り出して使用のこと。

④ロックピンのある機械は確実にピンを固定してください。その他、油圧やジャッキで昇降する機種も有ります。使用前には外観と昇降動作確認をしてから使用してください。

※作業台の移動は人を乗せたまま行わないこと。原則として作業台を最低の高さに下降させた後に行うこと。

(社)仮設工業会:高所作業台の使用基準より抜粋)





解説 コーナー

宮本武蔵の五輪書

◆「五輪書」とは?

宮本武蔵が晩年(1644~1648年ごろ)に、自身の兵法・二天一流の極意を書いた兵法書。地・水・火・風・空の5巻に分かれ、「地の巻」では兵法の広い基盤と心がけを、「水の巻」では一対一の立ち合いの心得を、「火の巻」では個人・集団それぞれの戦いについて、「風の巻」では他流剣法の批判と自身の兵法の正当性を、「空の巻」では兵法の道についての精神論を説く。「武士道」の原型を説き、日本人の精神に大きな影響を与えたこの書は、350年以上の時を経て、日本だけではなくアメリカでもベストセラーになっている。

◆「五輪書」からの武蔵の言葉

●兵法の道を大工にたとえる=地の巻から
「大將はいわば大工の棟梁。棟梁が大工を使うには、彼らの腕前の程度を知り、ある者は床の間、ある者は戸障子、敷居、鴨居、天井というように、能力に応じて仕事をさせ、腕の悪い者には根太(床板の下に張る横木)を張らせる、もっと悪い者にはくさびを削らせるなど、よく見分けて使えば、能率も上がって手際よくいくものである。」[解説:人にも材料にも適材適所がある。使うべき時・所をよく考えるべきである]

●文武二道をすすめる=地の巻から

「武士は文武二道といって、文と武の二つの道をたしなまなければならない。」[解説:仕事ばかりしている人間に魅力は少ない。多芸とは言わないまでも、趣味を持ち芸術に触れることは人間性を高める上で重要である]

●平常心をすすめる=水の巻から

「戦場にあつてすべてに忙しい状態の中でも、たえず兵法の道理を極め、平静な心を保つように修行すべきである。」[解説:忙しい仕事の中でも必要以上にあわてたり勇んだりせず、冷静に判断することが重要。また、プライベートなど仕事以外のことで何か心が動揺するようなことがあっても、仕事の場では平常心を保つよう務めるべきである]

●繰り返して失敗するより新しい手をすすめる=火の巻から

「同じことを二度繰り返すのはやむを得ない。が、三度はするものでない。敵の意表をついて趣きの変わったことを仕掛け、それでも決着がつかなければ、また別のことを仕掛けるべきである。」[解説:だめだと思いながら同じことを繰り返すより、客観的に状況をとらえ頭を切り替える方がよい]



SAFETY CHECK セーフティチェック ハンディ鉄筋カッターのトラブル防止

現場での鉄筋切断に用いられるハンディ型の鉄筋カッター。補助切断用として造られているので、長時間の連続使用や作業時に特有の危険が潜んでいます。

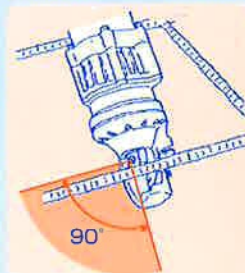
□ 短め固めは飛散の危険大

固い材質や鉄筋を短く切断すると切断片が90度（上空含む）の範囲内に飛散する恐れがあります。切断片が飛ぶ方向へ人がいない事を確認し作業しましょう。鉄筋はカッターブロックの間に浅い位置で切断すると切断片が飛ぶ恐れがあるので、深くはさみこみ切断。やむを得ず短く切断するときは飛散防止策を忘れずに。

□ トラブルシューティング

切断力が弱い場合、①作動油が減っていないか。連続使用は本体の温度が上がりパワーが落ちるので一旦休止して冷やす。②カッターブロックの取り付けボルトが緩んでいないか、また電源が適切に確保できているか確認してください。タコ足配線や延長コードの使用は電圧低下の原因です。

※作業中は保護めがねをご使用ください。多くの場合、目の保護のため保護めがねが必要です。



『しかし武蔵が晩年に記した五輪書という武術や兵法の解説書で、大工が自然の材料を見事に使いこなした適材適所を実現していることを例えにしていたり』

うむ

『武道だけでは一流になれない他の芸もたしなむべきである』
という
ような
ことも
書いています』

へえ、
いろいろ
やって
たんだ！

ブンブヨウドウ
ってやつ？

日頃私たちも
安全のためにあつしては
ダメ、こゝしては危険と
いうだけでなく

いろんな
角度から安全を
考えてもらう工夫を
していかなければ
なりません

ですね
岩田さん

えっいや
そ、その
とおりです
ハイ！

わかってんの
ガンさん

ガンさんが
達人的な
芸を披露
できるのは
飲んだ席
だけですよね

バカ
所長の
前で！

そうじゃ
ビールと
焼酎の二刀流

岩田武蔵
見参！